三百代言のおどかし

議決どおりの交換でー

（第一面から）

矢野議員 その時点でよいと諒承した、町側が敗訴するなら自治権はない、おどかしにすぎない

久保田議員 議決が正しいかどうか、庄内沢は国のものだつた、議決が正しいか検討すべきだ

新沼議員 話し合いで解決つかないものでない、積極的に理事者に努力してもらいたい

伊藤議員 本人は差額をほしい弁護士は議決無効という、本人と違うのをどう考えるか、六月の議会で議決は有効といつたが契約の議決をしていない、除せきをしなかつた、法的に調べなければ水掛け論となる

小林町長 本人の意思の問題で三月の時点では交換に応ずると明言されており、現在まで平穏無事に庁舎となつており有効と考えている、高橋氏と弁護士との喰い違いは、交換しないのは高橋氏の意見かどうか確認していない

大滝議長 議決の交換は当時の自治法にはなく売払いとなるが、庄内沢の地目は採草放牧地だつたので非農家の高橋氏に売ることはできず、三十五年三月三十一日に山林に地目替えしたので自由になつたが三十八年に自治法の改正で町長の立場にあるかぎりは交換できなくなつた議長席にあつたので除せきすべきだつた法令上のまずい点は再議に付せばよい

佐々木議員 高橋氏自身が議決の精神に立ち返つてやる気があるかどうか

神本議員 前の議決を積極的にすすめてゆくべきだ

福本議員 要するに三十一年の議決が無効なのか、現在の評価額が本当のハラか

大滝議長 そこまでいつていない、その結論が出れば提案される

香川議員 極端な言い方をすれば、賃貸契約なり対価交換をあきらめず執行を怠慢してきたもので交できる時期があつたのだからもう少し努力してほしい

斉藤副議長 卒直にいつて行政報告をする以上は徹底した調査をし相手もあり判断のできる資料を出す義務がある、すくなくともこの問題はこうだとの考え方がある毅然たる態度で報告してもらいたい、議会は迷惑する、報告しない方がよい

矢野議員 自治体は掘り下げてカビある議決でも町民に大きな損失をあたえなければよい

吉田議員 円満解決と弱気に考えず庁舎を建てて十二年もたつているのだから自信をもつてほしい

阿部議員 行政報告の仕方が一違つている、結論がなく出すのは議会に頼りすぎる、町長は毅然と自分の考えをもつべきなのに助けを求めている、町長として独つを面を努力してもらいたい

矢野議員 こちらの態度で、三百代言的な相手と無理してやる必要はない

小林町長 指摘されたが行政報告の在り方がズサンだとのこと、県案の問題で海老名弁護士から問題点を出されたので困難性があると申し上げた

などの論議がありました。

新沼議員 町有地（評価は佐々木正勝氏の所有地と町有地とを交換することになつたのか

小林町長 六月の議会で申し上げたが最高裁へ上告せず二審の結審で町有地であることが明確となりその時点で現在の西小実習地は佐々木氏の所有地にかこまれた袋地であの状態では最高度に利用されないので道路用地に近い佐々木氏の土地とを評価を適正にすべく依頼して交換して最高度に利用したく鑑定人の手数料を提案した

新沼議員 六月の議会で交換したいとの行政報告があつたがそのことだけでは理事者の姿勢に疑問がある、議会無視と考えるがどうか

香川議員 関連して一との問題は議決されて訴訟となり二審の判決か、さらに新たな角度から袋地なので交換するのか

小林町長 過般論議したが、一応の経過のなかであり、その時点で評価をして経過のなかで鑑定をお願いする

新沼議員 佐々木氏が上告をやめたのは理事者の申し入れでやめたのなら重大である、理事者は全責任を負わねばならない、全く佐々木氏のいうことをきかなければならない、どう考えるか

小林町長 佐々木の考えである

久保田議員 評価も大切だが、その前に裁判費用を論議せねばならない

富田総務課長 訴訟費用は終結すれば確定申し立てをせねばならない、いずれ議会に提案するが調べており申し立てするかどうか別に提案する

久保田議員 土地の評価よりも先に論議すべきでないか、四万円は必要はない

鳴海議員 大規模草地の立木売払いは産業課、林務課が関連してやるのか、町の造林、造材業者の育成を考えて売払うのか

富田総務課長 予定地の立木処分の執行は林務、産業、総務の三課に関連し処分は管財係がする、指名入札でやり町内業者だけとはまだ考えていない

鳴海議員 全体の事業がおわるまでにどのくらいの立木があるか何年計画か、売払いによつて地域産業をどのように振興させるか

各産業課長 草地造成の計画は本年は実施計画だけで九十㌶、事業は四十三年からで地場産業との結びつき、売払いを町内業者だけと煮つまつていないがこんご考えてゆきたい、最終的な立木収入はあとの調査による

（以下次号へつづく）

千百万円の追加

土地鑑定料に疑義

ついで議案に入つて一般会計補正予算案を上程、一千百七十六万円追加の主な内容はつぎのとおり

△交通事故補償金 一八万五千円
△町有地鑑定手数料 四万円
△飼料増産四セツト 三三七万五千円
△和牛導入補助 三四二万円
△小規模草地委託 一四二万六千円
△大規模草地調査 七五万円
△上利別線四号橋道路補修 三六万円
△東芽登共栄橋補修 五五万円
△斗伏橋架設 一〇五万円
△△トメルベ橋復旧 一二六三万円
△濡川橋復旧 九一万三千円

足寄劇場の映画案内

14日15日 にせ刑事 ある殺し屋
16日17日 あゝ同期の桜 急行列車
18日 実演 怪談劇
19日20日 千曲川絶唱 続何処へ
22日23日 ブルーライト作戦 栄光の野郎ども
24日25日 赤い情事 もだえの夜
26日27日28日 続 関東三兄弟 決着

暑中お見舞申し上げます

北海道拓殖銀行 本別支店長 臼井克己

北海道銀行 足寄支店長 伊東正司

北海道相互銀行 本別支店長 児島春光

帯広信用金庫 足寄支店長 村上幹曜

司法書士 渡辺昭 足寄町南区 T二四〇

豊田労務経営事務所 中小企業労務診断員 行政書士 豊田張男 足寄町東一区 T七〇

北海道登録 足寄不動産事務所 経営調査士・行政・司法書士 前寺忠三朗 足寄町南区 T三四五

総泉寺 住職 小林準道 足寄町西区 T二〇七

足寄町社会福祉協議会 会長 三宅隆義 副会長 新津幸助 同 多田梅松

足寄町民生委員協議会 総務 三宅隆義 副総務 武藤吉次 同 池田英太郎

日本通運株式会社 ㊠足寄営業所 所長 折笠茂

本別運送株式会社 取締役社長 岡崎克雄

足寄通運株式会社 取締役社長 宮川孫市 取締役専務 武藤吉次

株式会社 本別魚菜卸売市場 取締役社長 大広静男

外山澱粉工場 外山和雄 足寄町美盛 T三一三

足寄種禽孵卵場 安久津政入 足寄町央中区 T一七二

雪印乳業株式会社 足寄工場長 中仙道忠雄 陸別工場長 国分利男

足寄町商工会 会長 久保正夫 副会長 両角章 同 日景健治 よりよい繁栄のために経営の御相談は商工会へ

陸別町商工会 会長 菊地寅藤 副会長 竹内千代蔵 同 金沢賢蔵 専務理事 山本德一

有限会社 鈴木鋸刃物店
新型チエンソー販売！
米国製マッカラー 4、5馬力 83、000 8馬力 88、000
西独製 スチール 6馬力 100、000 6、5馬力 110、000
国産 共立エコー 5馬力 74、000 7馬力 86、000
米国製 ポーラン 5馬力 90、000 7馬力 107、000
各機種チエン在庫豊富 値下げ断行！
—（置戸カツチヤー入荷）—
足寄町大通り 電話307番

家具と建材のデパート
新店舗落成！
あなたの快的で豊かな住いと暮しのためにご用命をお待ちいたします！
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話221番

技術に生きる
HIS MASTERS VOICE 世界のマーク ビクター
テレビ ラジオ ステレオ レコード
有限会社 ミネデンキ
足寄劇場前 電話142番